

令和元年8月教育委員会議


令和2年度使用広島市立義務教育諸学校用教科用図書採択について

資 料 2

令和元年8月20日

広島市教育委員会様

広島市教科用図書採択審議会

会長 熊谷謙次郎 

令和2年度使用広島市立義務教育諸学校用教科用図書採択について(答申)

令和元年5月29日付け、広市教学指一第63号で諮問されたこのことについて、別紙のとおり答申します。

令和2年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔国語〕 種目〔国語〕

令和2年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

教科 [ 国 語 ] 種目 [ 国 語 ]

1 本市の実態や児童の状況

- 本市では、思考力・判断力・表現力を高めるために、指導事項の明確化、指導と評価の一体化を意識し、言語活動の充実に重点をおいた授業改善に取り組んだ結果、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域において概ね学力が定着している。また、特に「読むこと」「書くこと」の基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るために、全小学校の第1学年から第4学年において帯時間を設定し、反復学習等を行ってきた。
- 平成30年度全国学力・学習状況調査「文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く」に関する設問では、正答率が36.3%であり、主語・述語の関係等の言葉の特徴や使い方に関する事項に課題があることが明らかになった。また、目的に応じて必要な情報を選び出して整理したり、関連付けたりしながら、自分の考えを明確にして表現することなどにも課題が見られる。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 単元の目標及びまとめの示し方 ② 言葉の特徴や使い方に関する事項 ③ 情報の扱い方に関する事項
<主体的に学習に取り組む工夫>	④ 学習過程の示し方 ⑤ 他教科との関連や日常生活へのつながりのもたせ方
<内容の構成・配列・分量>	⑥ 年間の学習内容の見通しのもたせ方 ⑦ 単元や資料の配列
<内容の表現・表記>	⑧ 巻末資料の示し方 ⑨ 資料等の示し方 ⑩ 配色や文字の大きさ等の工夫
<言語活動の充実>	⑪ ねらいに応じた言語活動の設定及びその工夫

### 3 各教科書の特徴

#### 1 基礎・基本の定着

##### 視点① 単元の目標及びまとめの示し方

- 各領域の単元冒頭に、目標、付けたい力（「言葉の力」）、学習の見通し（「つかむ」）、既習事項（「覚えているかな」）との関連を示している。
- 単元末の「ふり返る」「言葉の力」に学習のまとめを示している。

##### 視点② 言葉の特徴や使い方に関する事項

- 言葉の特徴やさまりに関する小単元があり、目次に青字で示している。
- 2・5年に、主語と述語に関する単元を設けている。
- 単元末に、単元で扱う言葉や漢字をまとめて示している。

##### 視点③ 情報の扱い方に関する事項

- 3年で国語辞典の使い方、4年で漢字辞典の使い方を掲載している。
- 3年で図鑑や百科事典の使い方、4年で百科事典の使い方を掲載している。

#### 2 主体的に学習に取り組む工夫

##### 視点④ 学習過程の示し方

- 巻頭に「国語の学習の進め方」のページを設け、国語科の学習の進め方を示している。
- 【話すこと・聞くこと】と【書くこと】の単元では、番号を付した学習の手引きを示している。
- 【読むこと】の単元では、単元末に単元の「問い」とともに、学習の手引きを示している。
- 【読むこと】の教材では、単元の扉のページに導入文や絵、写真を示している。

##### 視点⑤ 他教科との関連や日常生活へのつながりのもたせ方

- 単元末の「こんな本もいっしょに」に、単元の内容に関連した書籍を紹介している。
- 「生かそう」に、他の学習や他教科、日常生活につなげる内容を示している。

#### 3 内容の構成・配列・分量

##### 視点⑥ 年間の学習内容の見通しのもたせ方

- 巻頭の「〇年で学習する言葉の力」に、各領域の教材と付けたい力を示している。
- 巻頭の「国語の学習の進め方」に、国語科の学習の進め方を示している。

##### 視点⑦ 単元や資料の配列

- 1年から4年までは2冊、5・6年は1冊で構成しており、各冊子の重さは次のとおり。

1年：上巻 139 ページ	約 270g	下巻 167 ページ	約 310g
2年：上巻 167 ページ	約 300g	下巻 175 ページ	約 310g
3年：上巻 175 ページ	約 310g	下巻 175 ページ	約 320g
4年：上巻 175 ページ	約 310g	下巻 175 ページ	約 310g
5年：303 ページ	約 520g		
6年：303 ページ	約 520g		

※重さは一の位を四捨五入

- 1単元1領域を原則として構成しており、5・6年に複合単元を設定している。

#### 4 内容の表現・表記

##### 視点⑧ 巻末資料の示し方

- 各学年の「言葉の広場」、「前学年で学習した言葉」、3年からの「学習で使う言葉」に、学習内容をまとめて掲載している。
- 原稿用紙の使い方や手紙の書き方、新聞の割り付けなど、各学年で身に付ける内容を掲載している。
- 並行読書、発展読書に活用する物語文や説明文を掲載している。

##### 視点⑨ 資料等の示し方

- キャラクターを設定し、吹き出しや挿絵を扱い、思考する上でのヒントを示している。
- 各単元に課題解決のための資料として活用する挿絵や写真を複数掲載している。

##### 視点⑩ 配色や文字の大きさ等の工夫

- 物語文、説明文教材に、5行ごとの行数字に加え、1行ごとのドットを付している。
- 各学年、「話す・聞く」「書く」「読む」領域の単元の冒頭に、インデックスで領域を明示している。
- カラーユニバーサルデザインに配慮し、ユニバーサルフォントを使用している。

#### 5 言語活動の充実

##### 視点⑪ ねらいに応じた言語活動の設定及びその工夫

- 単元名に言語活動を示している。  
「ごんぎつね」（4年）：物語の感想を伝え合う活動を設定している。
- 各学年に、学校図書館等の利活用の仕方について示した単元を設定している。
- 「〇年生の本だな」に、表紙の写真と紹介文を付して本の紹介をしている。

1 基礎・基本の定着

**視点① 単元の目標及びまとめの示し方**

- 各領域の単元冒頭に、目標を示している。
- 単元目標について、振り返りの視点を示し、【読むこと】では「国語のカギ」に学習のまとめを示している。

**視点② 言葉の特徴や使い方に関する事項**

- 言葉の特徴やきまりに関する小単元があり、「言葉の泉」「言葉のきまり」に分けて単元を構成している。
- 2・5年に、主語と述語に関する単元を設けている。

**視点③ 情報の扱い方に関する事項**

- 3年で国語辞典の使い方、4年で漢字辞典の使い方を掲載している。
- 情報の扱い方に関する教材を3年から6年に1か所ずつ設けている。
- 1・2年で図鑑の使い方、3・4年で百科事典の使い方、5年で年鑑の使い方を掲載している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

**視点④ 学習過程の示し方**

- 巻頭に「〇年生の国語の学習を始めましょう」のページを設け、前学年の学習内容や、国語の学習の進め方を示している。
- 【話すこと・聞くこと】と【書くこと】の単元では、単元冒頭に番号を付した学習の手引きを示している。
- 【読むこと】の単元では、単元末に番号を付して学習の手引きを示している。
- 巻頭に、国語学習において注意すべきことを示している。

**視点⑤ 他教科との関連や日常生活へのつながりをもたせ方**

- 単元末の「この本 読みたいな」に、単元の内容に関連した書籍を紹介している。

3 内容の構成・配列・分量

**視点⑥ 年間の学習内容の見通しをもたせ方**

- 巻頭の「〇年生でつきたい力」に、各領域、言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化それぞれのつきたい力と教材を示している。
- 巻頭の「〇年生の国語の学習を始めましょう」に、前学年の学習内容や国語の学習の進め方を示している。

**視点⑦ 単元や資料の配列**

- 各学年2冊で構成しており、各冊子の重さは次のとおり。
 

1年：上巻 136 ページ	約 250g	下巻 128 ページ	約 230g
2年：上巻 140 ページ	約 250g	下巻 136 ページ	約 250g
3年：上巻 158 ページ	約 290g	下巻 148 ページ	約 270g
4年：上巻 158 ページ	約 290g	下巻 152 ページ	約 280g
5年：上巻 172 ページ	約 310g	下巻 164 ページ	約 300g
6年：上巻 164 ページ	約 300g	下巻 162 ページ	約 290g
- ※重さは一の位を四捨五入
- 1領域を集中的に扱う単元と、複数領域を組み合わせる単元で構成しており、6年に複合単元を設定している。

4 内容の表現・表記

**視点⑧ 巻末資料の示し方**

- 2年からの「授業で使う言葉」「読書の部屋」「言葉の部屋」、3年からの「国語のカギ」に、学習内容をまとめて掲載している。
- 図書館やインターネットの活用方法等について掲載している。
- 並行読書、発展読書に活用する物語文や説明文を掲載している。

**視点⑨ 資料等の示し方**

- キャラクターを設定し、吹き出しや挿絵を扱い、思考する上でのヒントを示している。
- 各単元に課題解決のための資料として活用する挿絵や写真を複数掲載している。

**視点⑩ 配色や文字の大きさ等の工夫**

- 物語文、説明文教材に、5行ごとの行数字に加え、1行ごとのドットを付している。
- 各学年で、表紙や見出し等の色を設定している。
- カラーユニバーサルデザインに配慮している。

5 言語活動の充実

**視点⑪ ねらいに応じた言語活動の設定及びその工夫**

- 学習過程の中に言語活動を示している。  
「ごんぎつね」(4年)：物語の終わり方について話し合う活動を設定している。
- 各学年に、学校図書館等の利活用の仕方について示した単元を設定している。
- 「読書の部屋」に、表紙の写真と紹介文を付して本の紹介をしている。

1 基礎・基本の定着

**視点① 単元の目標及びまとめの示し方**

- 各領域の単元冒頭に、目標を示しており、【読むこと】の教材では、導入文や絵や写真を示している。
- 単元目標について「ここが大事」「ふり返ろう」に学習のまとめを示している。

**視点② 言葉の特徴や使い方に関する事項**

- 言葉の特徴やきまりに関する小単元があり、「言葉」「漢字の広場」に分けて単元を構成している。
- 言葉の特徴やきまりに関する小単元の配列を目次に示している。
- 2・6年に、主語と述語に関する単元を設けている。
- 単元末の「言葉」「言葉を学ぼう・言葉をふやそう」に、単元で扱う言葉をまとめて示している。

**視点③ 情報の扱い方に関する事項**

- 3年で国語辞典の使い方、4年で漢字辞典の使い方を掲載している。
- 3年で、本で調べる方法について図鑑を例に挙げて説明している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

**視点④ 学習過程の示し方**

- 【話すこと・聞くこと】と【書くこと】の単元では、単元冒頭に番号を付した学習過程と学習の手引きを示している。
- 【読むこと】の単元では、単元末に「①確かめよう」「②考えよう」「③深めよう」「④広げよう」の同じ構成の学習過程と学習の手引きを示している。
- 【読むこと】の単元では、学習過程の下段に、会話形式で着目すべき文章や場面の様子などの学習の手引きを示している。

**視点⑤ 他教科との関連や日常生活へのつながりのもたせ方**

- 単元末の「本を読もう」に、単元の内容に関連した書籍を紹介している。

3 内容の構成・配列・分量

**視点⑥ 年間の学習内容の見通しのもたせ方**

- 巻頭の「〇年生で学ぶこと」に、各領域、言語、漢字、文化、読書それぞれの学習内容や教材を示している。

**視点⑦ 単元や資料の配列**

- 各学年2冊で構成しており、各冊子の重さは次のとおり。
- |               |        |            |        |
|---------------|--------|------------|--------|
| 1年：上巻 136 ページ | 約 270g | 下巻 174 ページ | 約 320g |
| 2年：上巻 160 ページ | 約 290g | 下巻 164 ページ | 約 320g |
| 3年：上巻 160 ページ | 約 290g | 下巻 160 ページ | 約 290g |
| 4年：上巻 160 ページ | 約 290g | 下巻 182 ページ | 約 330g |
| 5年：上巻 152 ページ | 約 280g | 下巻 180 ページ | 約 330g |
| 6年：上巻 168 ページ | 約 300g | 下巻 168 ページ | 約 310g |

※重さは一の位を四捨五入

- 1領域を集中的に扱う単元と、複数領域を組み合わせて扱う単元で構成している。

4 内容の表現・表記

**視点⑧ 巻末資料の示し方**

- 各学年の「学ぶときに使う言葉」「ここが大事のまとめ」「言葉のまとめ」に、学習内容をまとめて掲載している。
- 各学年の「言葉の木」に、学年に応じた言葉をまとまりごとに掲載している。
- 原稿用紙の使い方や手紙の書き方、電子メールの書き方など、各学年で身に付けることを掲載している。
- 「〇年生で読みたい本」に、表紙の写真と紹介文を付して本の紹介をしている。
- 並行読書、発展読書に活用する物語文や説明文を掲載している。

**視点⑨ 資料等の示し方**

- キャラクターを設定し、吹き出しや挿絵を扱い、思考する上でのヒントを示している。
- 各単元に課題解決のための資料として活用する挿絵や写真を複数掲載している。

**視点⑩ 配色や文字の大きさ等の工夫**

- 物語文、説明文教材に、5行ごとの行数字を付している。
- カラーユニバーサルデザインに配慮し、ユニバーサルフォントを使用している。

5 言語活動の充実

**視点⑪ ねらいに応じた言語活動の設定及びその工夫**

- 学習過程の中に言語活動を示している。  
「ごんぎつね」(4年)：「せんでんポスター」を作り、紹介し合う活動を設定している。
- 1年から4年に、学校図書館等の利活用の仕方について示した単元を設定している。
- 「〇年生で読みたい本」に、表紙の写真と紹介文を付して本の紹介をしている。

1 基礎・基本の定着

**視点① 単元の目標及びまとめの示し方**

- 各領域の単元冒頭に、目標を示しており、【読むこと】の教材では、導入文や絵や写真、既習事項との関連を示している。
- 単元目標について「ふりかえろう」の中で「知る」「読む、書く、話す・聞く」「つなぐ」の視点を示し、「たいせつ」「いかそう」に学習のまとめを示している。

**視点② 言葉の特徴や使い方に関する事項**

- 言葉の特徴やきまりに関する小単元があり、「言葉の使い方」「受け継がれる言葉」に分けて単元を構成している。
- 言葉の特徴やきまりに関する小単元の配列を目次に示している。
- 2・6年に、主語と述語に関する単元を設けている。

**視点③ 情報の扱い方に関する事項**

- 3年で国語辞典の使い方、4年で漢字辞典の使い方を掲載している。
- 情報の扱い方に関する教材を2年から6年に3か所～5か所設けている。
- 4年で、百科事典の使い方を掲載している。(情報の扱い方に関する教材に、3年では、図鑑を例に挙げて「本で調べる方法」、5年で「統計資料の読み方」を掲載している。)

2 主体的に学習に取り組む工夫

**視点④ 学習過程の示し方**

- 巻頭に「国語の学びを見わたそう」のページを設け、国語の学習の進め方を示している。
- 単元末に各領域で同じ構成の学習過程と学習の手引きを示している。  
 【話すこと・聞くこと】の単元では、「決める・集める」「準備する」「話す・聞く」「つなげる」  
 【書くこと】の単元では、「決める・集める」「組み立てる」「書く」「つなげる」  
 【読むこと】の単元では、「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」
- 【読むこと】の単元では、学習過程の下段に、ノートの例、話し合いの例、感想の例などの学習の手引きを示している。

**視点⑤ 他教科との関連や日常生活へのつながりをもたせ方**

- 単元末の「この本、読もう」に、単元の内容に関連した書籍を紹介している。
- 「いかそう」に、他の学習や他教科、日常生活につなげる内容を示している。

3 内容の構成・配列・分量

**視点⑥ 年間の学習内容の見通しをもたせ方**

- 巻頭の「〇年生で学習すること」に、各領域、言葉の使い方、情報、受け継がれる言葉、読書、それぞれの学習内容や教材を示すとともに、各領域の前学年の学習のポイントを、学習の流れに沿って示している。

**視点⑦ 単元や資料の配列**

- 1年から4年までは2冊、5・6年は1冊で構成しており、各冊子の重さは次のとおり。

1年：上巻 132 ページ	約 240g	下巻 136 ページ	約 250g
2年：上巻 156 ページ	約 280g	下巻 164 ページ	約 290g
3年：上巻 160 ページ	約 280g	下巻 160 ページ	約 280g
4年：上巻 160 ページ	約 290g	下巻 164 ページ	約 290g
5年：296 ページ	約 510g		
6年：309 ページ	約 530g		

※重さは一の位を四捨五入

- 1領域を集中的に扱う単元と、複数領域を組み合わせる単元で構成しており、各学年に複合単元を設定している。
- 3年から6年では、説明文の1単元において、単元前に「練習」教材を設けている。

4 内容の表現・表記

**視点⑧ 巻末資料の示し方**

- 各学年の『「たいせつ」のまとめ』に学習内容をまとめて掲載している。
- 2年からの「言葉の宝箱」に、学年に応じた語彙を掲載している。
- 原稿用紙の使い方や手紙の書き方、考えを図で表すなど各学年で身に付けるべきことを掲載している。
- 「本の世界を広げよう」に、表紙の写真と紹介文を付して本の紹介をしている。
- 並行読書、発展読書に活用する物語文や説明文を掲載している。

**視点⑨ 資料等の示し方**

- キャラクターを設定し、吹き出しや挿絵を扱い、思考する上でのヒントを示している。
- 各単元に課題解決のための資料として活用する挿絵や写真を複数掲載している。

**視点⑩ 配色や文字の大きさ等の工夫**

- 各教材に、5行ごとの行数字を付している。
- 各学年で、表紙や各単元の見出し等の色を設定している。
- カラーユニバーサルデザインに配慮し、ユニバーサルフォントを使用している。

5 言語活動の充実

**視点⑪ ねらいに応じた言語活動の設定及びその工夫**

- 単元名に言語活動を示している。  
 「ごんぎつね」(4年)：グループごとにさらに深めたいことについてテーマを決めて話し合う活動を設定している。
- 各学年に、学校図書館等の利活用の仕方について示した単元を設定している。
- 「本の世界を広げよう」に、表紙の写真と紹介文を付して本の紹介をしている。



#### 4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である「主語・述語の関係等の言葉の特徴や使い方に関する事項」「目的に応じて必要な情報を選び出して整理したり、関連付けたりしながら、自分の考えを明確にして表現すること」に対応する各教科書の特徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和2年度使用小学校用教科用図書の調査・研究報告書」を基に審議した。

**意見1 光村図書出版の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。**

(理由)

- ・ 主語・述語に関する単元を2・6年に設けることで、段階的な指導を行うことが可能となっている。
- ・ 情報の扱い方に関する単元を2年以上に特設し、複数設けていることは、情報の扱い方に関する「知識及び技能」を身に付ける学習を進めるのに効果的である。また、3年で国語辞典、4年で漢字辞典の使い方を掲載しており、情報を取り出したり活用したりする際の具体的な手段について指導することが可能となっている。
- ・ 【話すこと・聞くこと】【書くこと】【読むこと】の領域それぞれに学習過程と学習の手引きを示している。特に、【読むこと】の単元では、学習の手引きに、具体的な学習の流れだけでなく、ノートのまとめ方や話し合いの仕方などの例も示しており、児童が見通しをもって主体的に学習を進めるのに効果的である。

**意見2 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。**

(理由)

- ・ 主語・述語に関する単元を2・5年に設けることで、段階的な指導を行うことが可能となっている。
- ・ 3年で国語辞典、図鑑、百科事典、4年で漢字辞典、百科事典の使い方を掲載しており、情報を取り出したり活用したりする際の具体的な手段について指導することが可能となっている。
- ・ 【話すこと・聞くこと】【書くこと】には、番号を付した学習の手引きを示し、【読むこと】の単元では、単元末に単元の「問い」と共に学習の手引きを示しており、児童が見通しをもって学習を進めるのに効果的である。

令和2年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔国語〕種目〔書写〕

令和2年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

教科 [ 国 語 ] 種目 [ 書 写 ]

1 本市の実態や児童の状況

- 年賀状や手紙等を書く機会が減少し、日常生活の中で文字を書く場面が減ってきている。そこで、本市では、伝統と文化に触れる機会をもつことができるよう、文化の祭典「展示の部（書写）」や、小学校教育研究会国語科部会主催の「書き初め会」に取り組んでいる。
- 入学前に誤った筆記具の持ち方や姿勢等を習得している児童が多く、限られた授業時間の中で、筆記具の持ち方や姿勢等の基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させることや、学習内容を各教科の活動に生かすことが難しい状況にある。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	① 学習内容の定着のための工夫 ② 書く姿勢・筆記具の持ち方・用具の扱い方の示し方 ③ 伝統と文化に関する内容の記述
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	④ 興味・関心を高める工夫 ⑤ 単元のめあてと振り返りの示し方
＜内容の構成・配列・分量＞	⑥ 単元や資料等の配列と分量
＜内容の表現・表記＞	⑦ 挿絵や写真等の活用 ⑧ 目次や巻末資料の示し方 ⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫
＜言語活動の充実＞	⑩ 他教科や日常生活に生かす言語活動の工夫

### 3 各教科書の特徴

#### 1 基礎・基本の定着

##### 視点① 学習内容の定着のための工夫

- 2年から6年に、学習の手順「書写の学び方」を示している。
- 毛筆の学習では、筆圧・穂先の動き・点画のつながりなどの筆使いを朱墨や墨で示している。
- 「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」という学習過程に沿って、硬筆、毛筆、硬筆の順に学習を進めることで、関連を図っている。(硬筆→毛筆→硬筆)
- 全学年に練習用のマスや行を設けている。
- 3年以上の学年にインデックスを用いて、既習学習を確認できるようにしている。

##### 視点② 書く姿勢・筆記具の持ち方・用具の扱い方の示し方

- 全学年に、書く姿勢や筆記具の持ち方を、3年以上の学年に、用具の置き方と扱い方を示している。また、左手で書く場合の用具の置き方を写真で示している。
- 全学年に、姿勢を整える合言葉を示している。
- 1・2年に、書く姿勢を整えるための「しょしゃたいそう」を掲載している。
- 3年以上に、書き初めを書くときの姿勢を示している。

##### 視点③ 伝統と文化に関する内容の記述

- 全学年に、昔話・漢文・古文・短歌・俳句・いろは歌などをなぞり書きするページを設けている。
- 1年に鉛筆と消しゴム、3年に筆や硯・墨などの伝統的な作り方を紹介している。
- 1・2年に、漢字の由来を掲載している。
- 2年から4年に、手紙やはがきの書き方を扱っている。
- 6年に、楷書や行書などの書体、文字の歴史について掲載している。

#### 2 主体的に学習に取り組む工夫

##### 視点④ 興味・関心を高める工夫

- 全学年同一キャラクターが、会話形式で学習において気を付けること等を示している。加えて、1年は、動物のキャラクターで点画の特徴を示している。
- 3年から6年では、マークで筆の穂先の向きを示している。
- 全学年に「文字のいずみ」(3～5項目)を設けている。
- 1・2年に水書用紙が付いている。

##### 視点⑤ 単元のめあてと振り返りの示し方

- 1年のみ各小単元でめあてを示し、2年からは何を学ぶかを示している。
- 3年から6年の最後の単元に、自分で決めて書き込める「言葉と筆記具」「めあて」を設けている。
- 全学年、各小単元に、自己評価する「ふり返って話そう」を設けている。
- 1・2年最後の単元に、自分で決めて書き込める「つかいたい書写のかぎ」を設けている。

#### 3 内容の構成・配列・分量

##### 視点⑥ 単元や資料等の配列と分量

- 3年以上の毛筆教材は、各学年とも巻頭単元を一文字の教材にしている。
- 各学年の冒頭に、目次とともに当該学年の学習内容を一覧にして掲載している。
- 2年から6年では、当該学年末までの学習内容を「書写のかぎ」でまとめて示している。
- 各毛筆教材の単元内に、硬筆の練習欄を設けている。
- 判型A B判
- 単元数と分量(単元に、資料として書き初めが含まれている。)

1年…4単元	49ページ	約130g	2年…3単元	45ページ	約130g
3年…9単元	57ページ	約150g	4年…9単元	53ページ	約140g
5年…8単元	53ページ	約140g	6年…8単元	53ページ	約140g

※重さは一の位を四捨五入

#### 4 内容の表現・表記

##### 視点⑦ 挿絵や写真等の活用

- 1年では、姿勢や鉛筆の持ち方などを、角度を変えた写真や絵で示すとともに、実物大の絵で、手の添え方や鉛筆の持ち方を示している。
- 3年から、始筆・送筆・終筆の穂先の様子を筆のイラストで示している。

##### 視点⑧ 目次や巻末資料の示し方

- 目次は、1年は巻末に、2年以上は巻頭に掲載している。
- 学年に応じて、以下の巻末資料を掲載している。  
ひらがな表、かたかな表、ローマ字表、前学年で習った漢字、当該学年で習う漢字はがきの書き方、「書写のかぎ」(身に付けたい力)、手書き文字、世界の文字等の様々な文字  
鉛筆・消しゴム・筆・和紙・すずり・すみの作り方、水書用紙の使い方、書き初め  
日本の文字の歴史、小筆の書き方、昔話の歌、漢字の成り立ち

##### 視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- 1年では、指でなぞるひらがなを示している。
- 学年ごとにベースカラーを設定している。
- カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮している。また、ゴシック体にもユニバーサルデザインフォントを採用している。

#### 5 言語活動の充実

##### 視点⑩ 他教科や日常生活に生かす言語活動の工夫

- 各学年の「生活に広げよう」や「学びを生かそう」に、原稿用紙の使い方やノートの使い方、実験記録の取り方、連絡帳の書き方等を掲載している。

1 基礎・基本の定着

視点① 学習内容の定着のための工夫

- 全学年に、学習の手順「学習の進め方」を示している。
- 2年以上の各学年に、「この教科書のつかい方」を掲載している。
- 毛筆の学習では、筆圧・穂先の動き・点画のつながりなどの筆使いを朱墨や墨で示している。
- 毛筆教材の後に、同じねらいをもつ硬筆教材を取り上げ、関連を図っている。(毛筆→硬筆)
- 全学年に練習用のマスや行を設けている。

視点② 書く姿勢・筆記具の持ち方・用具の扱い方の示し方

- 全学年に、書く姿勢や筆記具の持ち方を、3年以上の学年に、用具の置き方と扱い方を示している。
- 全学年に、姿勢を整える合言葉を示している。
- 3年以上に、書き初めを書くときの姿勢を示している。

視点③ 伝統と文化に関する内容の記述

- 3年以上に、古文・短歌・俳句などをなぞり書きや写し書きするページを設けている。
- 2年に鉛筆と消しゴム、3・4年に筆や硯・墨などの伝統的な作り方を紹介している。
- 2・3・5年に、漢字や片仮名の由来を掲載している。
- 3年以上に、手紙やはがきの書き方を扱っている。
- 6年に、楷書や行書などの書体について掲載している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 興味・関心を高める工夫

- 全学年同一キャラクターが、会話形式で学習において気を付けること等を示している。
- 表紙裏に、1年のみ絵の中から文字を見つける「みのまわりのもじをさがそう」を設けている。
- 2年から5年に「なぜ?なに?書写の不思議」(1~3項目)、6年に「発展」(1項目)を設けている。
- 1年巻末、2年巻頭に大事なところや気を付けたいところに貼るためのシールが付いている。

視点⑤ 単元のめあてと振り返りの示し方

- 全学年、各小単元でめあてを示している。
- 全学年、各小単元に、書く活動でまとめる「ふり返ろう」を設けている。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 単元や資料等の配列と分量

- 2年から6年の巻頭に、前学年で学習したことを振り返る単元を設定している。
  - 各毛筆教材の単元内に、硬筆の練習欄を設けている。
  - 判型B5判
  - 単元数と分量(単元に、資料として書き初めが含まれていない。)
- |        |       |       |        |       |       |
|--------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 1年…7単元 | 50ページ | 約110g | 2年…9単元 | 47ページ | 約110g |
| 3年…8単元 | 51ページ | 約120g | 4年…9単元 | 57ページ | 約140g |
| 5年…7単元 | 53ページ | 約130g | 6年…6単元 | 51ページ | 約120g |

※重さは一の位を四捨五入

4 内容の表現・表記

視点⑦ 挿絵や写真等の活用

- 1・2年では、姿勢や鉛筆の持ち方などを、角度を変えた写真や絵で示している。
- 3年から、始筆の角度を三角定規のマークで示している。

視点⑧ 目次や巻末資料の示し方

- 目次は、1年は巻末に、2年以上は巻頭に掲載している。
- 学年に応じて、以下の巻末資料を掲載している。  
ひらがな表、かたかな表、ローマ字表、アルファベット表、当該学年で習う漢字  
縦書きと横書きの書き方、都道府県名、  
はがき・原稿用紙・手紙の書き方、メモの取り方、観察記録の書き方、  
ポスター・お知らせ・ノート・プログラム・学級新聞などの文字の書き方、水筆の使い方  
行書の書き方、書き初め

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- 学年ごとにベースカラーを設定している。
- ユニバーサルデザインの観点で色使いやフォント、レイアウトに配慮している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 他教科や日常生活に生かす言語活動の工夫

- 各学年の「書写の資料館」に、はがき・原稿用紙・手紙の書き方、都道府県名、メモの取り方、観察カードの書き方等を掲載している。

1 基礎・基本の定着

視点① 学習内容の定着のための工夫

- 全学年に、学習の手順「学習の進め方」を示している。
- 毛筆の学習では、筆圧・穂先の動き・点画のつながりなどの筆使いを朱墨や墨で示している。
- 毛筆教材の前後に、硬筆で書く「ためし書き」と「まとめ書き」を設け、関連を図っている。(硬筆→毛筆→硬筆)
- 全学年に練習用のマスや行を設けている。

視点② 書く姿勢・筆記具の持ち方・用具の扱い方の示し方

- 全学年に、書く姿勢や筆記具の持ち方を、3年以上の学年に、用具の置き方と扱い方を示している。
- 全学年に、姿勢を整える合言葉を示している。
- 2年に、書く姿勢を整えるための「しょしゃの体そう」を掲載している。
- 3年以上に、書き初めを書くときの姿勢を示している。

視点③ 伝統と文化に関する内容の記述

- 2年以上に、昔話・古文・短歌・俳句などを掲載している。
- 3年に筆の伝統的な作り方を紹介している。
- 1・2・5・6年に、漢字や平仮名の由来を掲載している。
- 3年以上に、手紙やはがきの書き方を扱っている。
- 6年に、楷書や行書などの書体、文字の歴史について掲載している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 興味・関心を高める工夫

- 全学年同一キャラクターが、会話形式で学習において気を付けること等を示している。加えて、1年は、動物のキャラクターで点画の特徴を示している。
- 表紙裏に、1・2年で絵や写真の中から文字を見付ける「もじたんけん」を設け、3年から6年に、写真等を用いた文字に関するコラムを掲載している。
- 全学年に「知りたい文字の世界」(1～2項目)、2・6年に「はってん」(1項目)を設けている。
- 1年に水書用紙が付いている。

視点⑤ 単元のめあてと振り返りの示し方

- 全学年、各単元でめあてを示している。
- 3年から6年の最後の単元に、自分で決めて書き込める「自分のめあて」を設けている。
- 全学年、各小単元に、3段階で自己評価する「ふり返ろう」を設けている。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 単元や資料等の配列と分量

- 各毛筆教材の単元内に、硬筆の練習欄を設けている。
  - 判型B5判
  - 単元数と分量(単元に、資料として書き初めが含まれていない。)
- |        |       |       |        |       |       |
|--------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 1年…4単元 | 49ページ | 約110g | 2年…3単元 | 41ページ | 約90g  |
| 3年…8単元 | 61ページ | 約130g | 4年…8単元 | 61ページ | 約120g |
| 5年…9単元 | 53ページ | 約110g | 6年…6単元 | 53ページ | 約110g |

※重さは一の位を四捨五入

4 内容の表現・表記

視点⑦ 挿絵や写真等の活用

- 1・2年では、姿勢や鉛筆の持ち方、消しゴムや下敷きの使い方を、写真や絵で示している。
- 3年から、始筆・送筆・終筆の穂先の様子を筆のイラストで示している。

視点⑧ 目次や巻末資料の示し方

- 目次は、1年は巻末に、2年以上は巻頭に掲載している。
- 学年に応じて、以下の巻末資料を掲載している。  
ひらがな表、かたかな表、ローマ字表、前年で習った漢字、当該学年で習う漢字  
はがき・手紙の書き方、メモの取り方、学級新聞・カード・案内等の書き方、筆記用具の特徴  
すみ・すずり・紙・消しゴム印の作り方、水書用紙の使い方、書き初め、書写の体操  
平仮名の成り立ち

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- 1年では、指でなぞるひらがなを示している。
- 各学年が、決められた色で統一されている。
- カラーユニバーサルデザインを使用している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 他教科や日常生活に生かす言語活動の工夫

- 各学年の「レッツ・トライ」「書いて伝えよう」、3年から6年の「知っておこう」に、ノートの書き方、はがきの書き方等を掲載している。

1 基礎・基本の定着

**視点①** 学習内容の定着のための工夫

- 3年以上に、学習の手順「学習の進め方」を示している。
- 毛筆の学習では、筆圧・穂先の動き・点画のつながりなどの筆使いを朱墨や墨で示している。
- 毛筆教材の後に、同じねらいをもつ硬筆教材を取り上げ、関連を図っている。(毛筆→硬筆)
- 全学年に練習用のマスや行を設けている。

**視点②** 書く姿勢・筆記具の持ち方・用具の扱い方の示し方

- 全学年に、書く姿勢や筆記具の持ち方を、3年以上の学年に、用具の置き方と扱い方を示している。
- 全学年に、姿勢を整える合言葉を示している。
- 1・2年に、書く姿勢を整えるための「しょしゃたいそう」を掲載している。
- 3年以上に、書き初めを書くときの姿勢を示している。

**視点③** 伝統と文化に関する内容の記述

- 2年以上に、いろは歌や俳句、短歌、古文を掲載しており、5・6年では、古文・短歌を写し書きするページを設けている。
- 3・4年に筆や硯・墨などの伝統的な作り方を紹介している。
- 全学年に、漢字の由来を掲載している。
- 3年以上に、手紙やはがきの書き方を扱っている。
- 6年に、楷書や行書などの書体、文字の歴史について掲載している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

**視点④** 興味・関心を高める工夫

- 全学年キャラクターが、会話形式で学習において気を付けること等を示している。加えて、1～3年は、キャラクターで点画の特徴を示している。
- 表紙裏に、1年のみ自分のクラスと名前を書く欄を設けている。
- 全学年に「漢字図かん」(1項目)、2年から6年に「もっと知りたい」(1～2項目)、2・6年に「発展」(1項目)を設けている。
- 3年巻頭に、穂先や終筆のシールが付いている。
- 1年に水書用紙が付いている。

**視点⑤** 単元のめあてと振り返りの示し方

- 全学年、各単元でめあてを示している。
- 3年から6年の最後の単元に、自分で決めて書き込める「めあて」を設けている。
- 各小単元に、2段階で自己評価する「できたかな」(1年)「ふり返ろう」(2～6年)を設けている。

3 内容の構成・配列・分量

**視点⑥** 単元や資料等の配列と分量

- 2年から6年の巻末に、『たいせつ』のまとめとして当該学年の学習内容を一覧にして掲載している。
  - 「硬筆のまとめ」に、各毛筆教材に対応する硬筆の練習欄を設けている。
  - 判型B5判
  - 単元数と分量(単元に、資料として書き初めが含まれている。)
- |        |       |       |        |       |       |
|--------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 1年…5単元 | 45ページ | 約110g | 2年…4単元 | 41ページ | 約90g  |
| 3年…6単元 | 57ページ | 約130g | 4年…6単元 | 53ページ | 約110g |
| 5年…6単元 | 55ページ | 約120g | 6年…5単元 | 53ページ | 約110g |

※重さは一の位を四捨五入

4 内容の表現・表記

**視点⑦** 挿絵や写真等の活用

- 1年では、姿勢や鉛筆の持ち方を写真や絵で示している。
- 3年から、始筆・送筆・終筆の穂先の様子を筆のイラストで示している。

**視点⑧** 目次や巻末資料の示し方

- 目次は、1年は巻末に、2年以上は巻頭に掲載している。
- 学年に応じて、以下の巻末資料を掲載している。  
ひらがな表、かたかな表、ローマ字表、アルファベット表、前年で習った漢字  
当該学年で習う漢字、都道府県名、はがき・原稿用紙・手紙の書き方、鉛筆の持ち方  
筆で書いてみよう、紙・すみ・すずりの作り方、水筆の使い方、行書の書き方、書き初め  
空書の書き方

**視点⑨** 配色や文字の大きさ等の工夫

- 1年では、指でなぞるひらがなを示している。
- 学年ごとにベースカラーを設定している。
- カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインフォントを使用している。

5 言語活動の充実

**視点⑩** 他教科や日常生活に生かす言語活動の工夫

- 2年から5年の「やってみよう」に、手紙の書き方、リーフレットの書き方等を掲載している。
- 6年には、6年間で学習したことを日常生活に生かすための「書写ブック」のページを設けている。

1 基礎・基本の定着

視点① 学習内容の定着のための工夫

- 全学年に、学習の手順「学習の進め方」を示している。
- 1・2年に、「この教科書のつかい方」を掲載している。
- 毛筆の学習では、筆圧・穂先の動き・点画のつながりなどの筆使いを朱墨や墨で示している。
- 毛筆教材の後に、同じねらいをもつ硬筆教材を取り上げ、関連を図っている。(毛筆→硬筆)
- 全学年に練習用のマスや行を設けている。

視点② 書く姿勢・筆記具の持ち方・用具の扱い方の示し方

- 全学年に、書く姿勢や筆記具の持ち方を、3年以上の学年に、用具の置き方と扱い方を示している。
- 1年から4年に、姿勢を整える合言葉を示している。
- 3年以上に、書き初めを書くときの姿勢を示している。

視点③ 伝統と文化に関する内容の記述

- 3・5・6年に、古文・いろは歌を掲載している。
- 5年に筆の伝統的な作り方を紹介している。
- 5・6年に、平仮名や片仮名の由来を掲載している。
- 1・3年から6年に、手紙やはがきの書き方を扱っている。
- 5年に、楷書や行書などの書体、6年に、文字の歴史について掲載している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点④ 興味・関心を高める工夫

- 全学年同一キャラクターが、会話形式で学習において気を付けること等を示している。加えて、1年は、動物のキャラクターが点画の特徴を示している。
- 表紙裏に、1年のみ絵の中から文字を見付ける「もじをさがそう」を設けている。
- 全学年に「コラム」(1～4項目)、「言葉の窓」(1項目)、3・5・6年に「チャレンジ」(1項目)を設けている。
- 1・2年に水書用紙が付いている。

視点⑤ 単元のめあてと振り返りの示し方

- 全学年、各単元でめあてを枠で囲い示している。
- 3年から5年の最後の単元に、自分で決めて書き込める「私のめあて」を1か所、6年では最後の単元だけでなく4か所設けている。
- 全学年、各小単元に、2段階で評価する「できたかな」を設けている。
- 6年に、自分で題材を選んで取り組む単元を設定している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑥ 単元や資料等の配列と分量

- 各毛筆教材の単元内に、硬筆の練習欄を設けている。
  - 判型B5判
  - 単元数と分量(単元に、資料として書き初めが含まれていない。)
- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1年…5単元 40ページ 約120g | 2年…5単元 40ページ 約120g |
| 3年…8単元 56ページ 約130g | 4年…7単元 56ページ 約130g |
| 5年…6単元 52ページ 約120g | 6年…7単元 52ページ 約120g |
- ※重さは一の位を四捨五入

4 内容の表現・表記

視点⑦ 挿絵や写真等の活用

- 1・2年では、姿勢や鉛筆の持ち方を写真や絵で示すとともに、実物大の絵で、手の添え方や鉛筆の持ち方を示している。
- 3年から、始筆・送筆・終筆の穂先の様子を筆のイラストで示している。

視点⑧ 目次や巻末資料の示し方

- 目次は、1年は巻末に、2年以上は巻頭に掲載している。
- 学年に応じて、以下の巻末資料を掲載している。  
 ひらがな表、かたかな表、アルファベット表、前年で習った漢字、当該学年で習う漢字  
 横書きの書き方、都道府県名、はがき・原稿用紙・手紙の書き方、メモの取り方  
 日記・連絡帳・観察記録の書き方、学級新聞・ポスター・お知らせなどの掲示物の書き方  
 消しゴム印の作り方、提案文・スピーチ原稿の書き方、紹介カードの書き方、水筆の使い方  
 行書の書き方、書き初め、俳句の作り方

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- 1年では、指でなぞるひらがなを示している。
- 学年ごとにベースカラーを設定している。
- カラーユニバーサルデザインに配慮している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 他教科や日常生活に生かす言語活動の工夫

- 各学年の「生活と書写」「国語の広場」に、原稿用紙の使い方、手紙や掲示物の書き方等を掲載している。



#### 4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である、「筆記具の持ち方や姿勢等の基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させることや、学習内容を各教科の活動に生かすこと」に対応する各教科書の特徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和2年度使用小学校用教科用図書の調査・研究報告書」を基に審議した。

**意見1 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。**

(理由)

- ・ 「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」という学習過程に沿って、硬筆、毛筆、そして、硬筆の順に学習を進め、硬筆と毛筆の関連を図っていることは、学習内容の定着を図るために効果的である。
- ・ 全学年に書く姿勢や筆記具の持ち方、3年以上に用具の置き方と扱い方を示している。また、左手で書く場合の用具の置き方も示している。
- ・ 各学年の「生活に広げよう」や「学びを生かそう」に、原稿用紙の使い方やノートの使い方、連絡帳の書き方等を掲載しており、各教科や日常生活に生かすことを学習の中で意識できるようになっている。

**意見2 教育出版の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。**

(理由)

- ・ 毛筆教材の前後に、硬筆で書く「ためし書き」と「まとめ書き」を設け、硬筆と毛筆の関連を図っている。
- ・ 全学年に書く姿勢や筆記具の持ち方、3年以上に用具の置き方や扱い方について示している。
- ・ 各学年の「レッツ・トライ」や「書いて伝えよう」、3年から6年の「知っておこう」に、ノートの使い方、はがきの書き方等を掲載しており、各教科や日常生活に生かすことを学習の中で意識できるようになっている。